

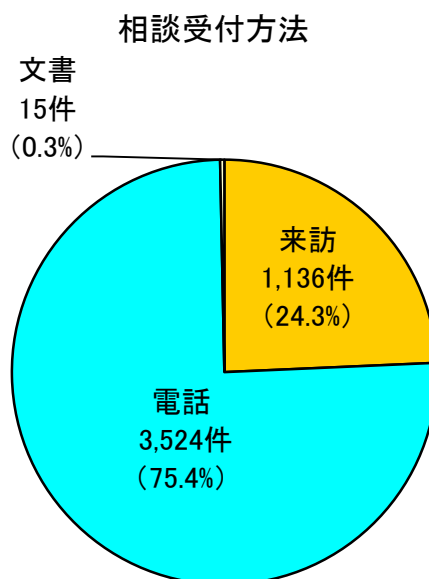
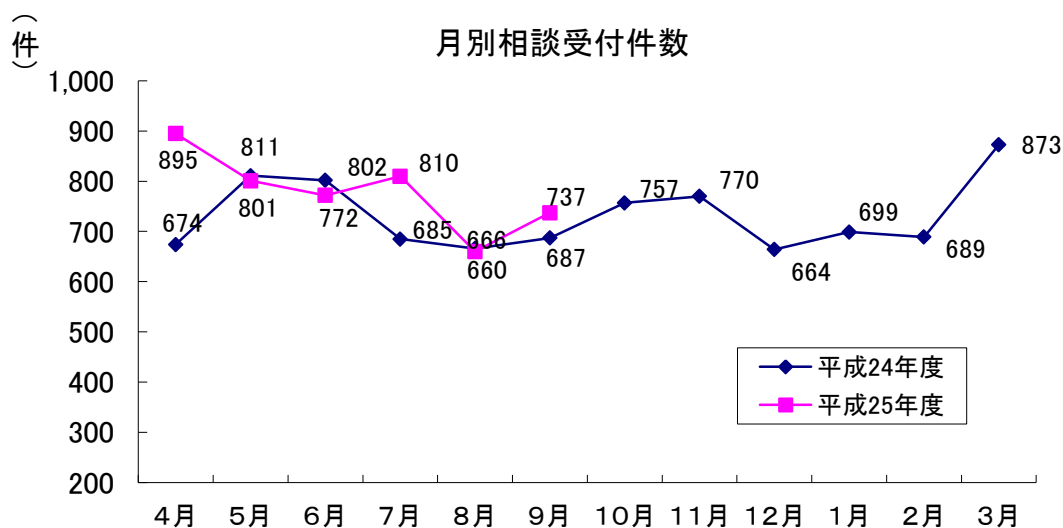
平成 25 年度青森県内の消費生活相談状況（4～9月）

1. 平成 25 年度の状況（4～9月）

（1）相談受付状況

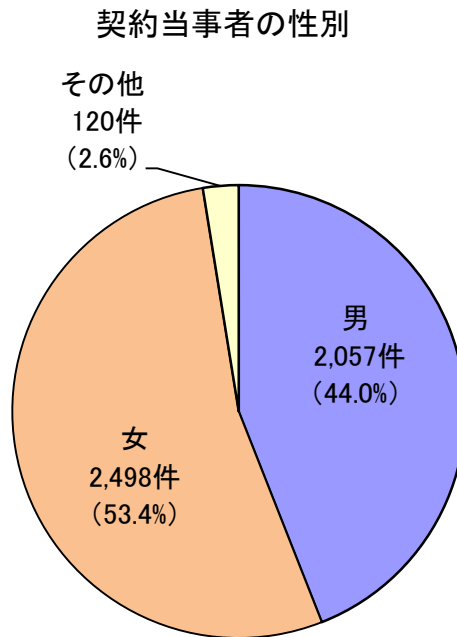
県内の消費生活相談窓口で受付した件数は、苦情相談 3,835 件、問合わせ 840 件、合計 4,675 件であり、前年同期に比べ 350 件（8.1%）増加しました。（単位：件）

相談種別	年度 平成 25 年度 4～9月	平成 24 年度 4～9月	増 減	(参 考) 平成 24 年度
苦 情 相 談	3,835	3,544	291 (8.2%)	7,253
問 合 せ	840	781	59 (7.6%)	1,524
計	4,675	4,325	350 (8.1%)	8,777

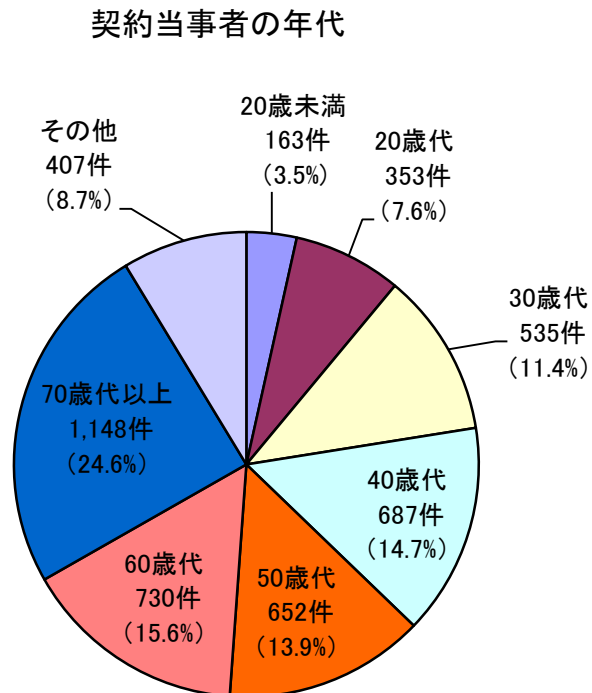


(2) 契約当事者の状況

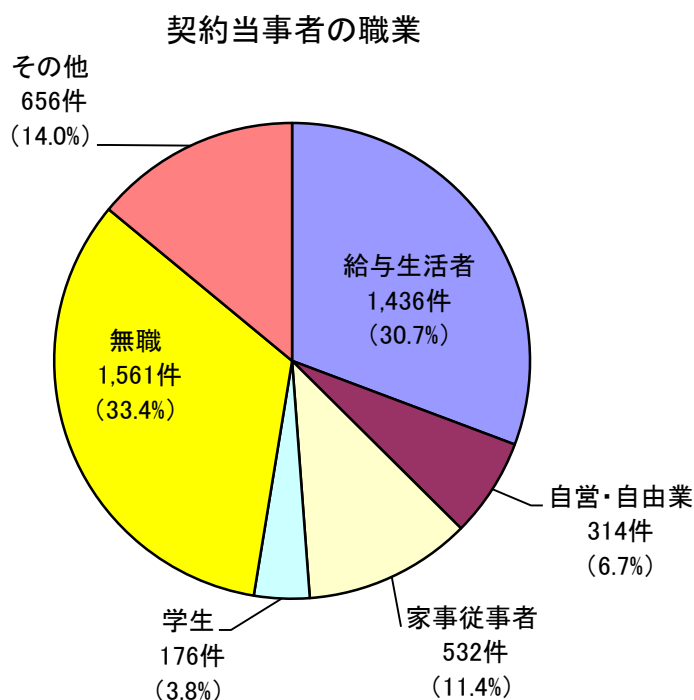
契約当事者の性別では、男性が2,057件、女性が2,498件となっています。



契約当事者の年代別では、70歳代以上が1,148件と最も多く、次いで60歳代730件、40歳代687件となっています。



契約当事者の職業別では、無職が1,561件で最も多く全体の33.4%を占めています。次いで給与生活者が1,436件(30.7%)となっています。



(3) 商品・役務別の相談件数・内容

(単位：件)

	平成 25 年度 4～9月	平成 24 年度 4～9月	増 減	(参 考) 平成 24 年度
1 運輸・通信サービス	892	953	▲61 (▲6.4%)	2,014
2 金融・保険サービス	704	858	▲154 (▲17.9%)	1,603
3 食 料 品	559	226	333 (147.3%)	649
4 教 養 娯 楽 品	273	253	20 (7.9%)	492
5 他 の 役 務	238	195	43 (22.1%)	402
そ の 他	2,009	1,840	169 (9.2%)	3,617
計	4,675	4,325	350 (8.1%)	8,777

「運輸・通信サービス」892件は、前年同期953件と比較すると61件(▲6.4%)の減少となりました。最も多かった相談は、アダルト情報サイトや出会い系サイトなどの放送・コンテンツ等に関する相談643件で前年同期746件と比較すると103件(▲13.8%)の減少となっています。

「金融・保険サービス」704件は、前年同期858件と比較すると154件(▲17.9%)の減少となりました。最も多かった相談は、融資サービスの相談460件で前年同期585件と比較すると125件(▲21.4%)の減少となっています。

「食料品」559件は、前年同期226件と比較すると333件(147.3%)の増加となりました。

最も多かった相談は、健康食品に関する相談 415 件で前年同期 87 件と比較すると 328 件 (377.0%) の増加となっています。

「教養娯楽品」273 件は、前年同期 253 件と比較すると 20 件 (7.9%) の増加となりました。最も多かった相談は、新聞や単行本などの書籍・印刷物に関する相談 63 件 (23.1%) となっています。

「他の役務」238 件は、前年同期 195 件と比較すると 43 件 (22.1%) の増加となりました。最も多かった相談は、過去の被害金を取り戻すなどの多種多様なサービスの提供に関する相談 77 件 (32.4%) となっています。

2. 平成 25 年度の特徴 (4～9 月)

(1) 65 歳以上の相談が増加

①相談受付件数

契約当事者が 65 歳以上の相談は、苦情相談 1,220 件、問合せ 215 件、合計 1,435 件であり、前年同期に比べ 431 件 (42.9%) 増加しました。

相談種別	年度 平成 25 年度 4～9 月	平成 24 年度 4～9 月	増 減
苦 情 相 談	1,220	812	408 (50.2%)
問 合 せ	215	192	23 (12.0%)
計	1,435	1,004	431 (42.9%)

②商品・役務別の相談受付状況

65 歳以上の相談で最も多いのは、食料品に関する相談 407 件で、前年同期 105 件と比較すると 302 件 (287.6%) の増加となり、増加ぶりが目立っています。

商品・役務名	年度 平成 25 年度 4～9 月	平成 24 年度 4～9 月	増 減
1 食 料 品	407	105	302 (287.6%)
2 金融・保険サービス	215	224	▲9 (▲4.0%)
3 商 品 一 般	99	79	20 (25.3%)
4 教 養 娯 楽 品	84	78	6 (7.7%)
5 運輸・通信サービス	73	61	12 (19.7%)
そ の 他	557	457	100 (21.9%)
計	1,435	1,004	431 (42.9%)

食 料 品：健康食品、魚介類、飲料など

金融・保険サービス：フリーローン・サラ金、ファンド型投資商品、公社債など

商 品 一 般：架空請求、商品が多岐にわたるもの、特定できないもの

教 養 娯 楽 品：単行本、新聞、室内装飾品、仏具・神具など

運輸：通信サービス：デジタルコンテンツ、インターネット接続回線など

③65歳以上の既払金額

65歳以上の相談で、お金を支払ってしまった人の数は、253人で前年同期171人と比較すると82人（48.0%）の増加となりました。既払金額の合計は453,784千円で、前年同期385,396千円と比較すると68,388千円（17.7%）の増加となりました。全相談においても既払金額の合計が前年同期に比べ増加していますが、増加金額が65歳以上の増加分の金額に極めて近く、高齢者の被害の深刻さが浮き彫りになっています。

（単位：千円）

◆65歳以上	平成25年度 4～9月	平成24年度 4～9月	増減
お金を支払った人の数	253人	171人	82人（48.0%）
既払金額合計	453,784	385,396	68,388（17.7%）
平均既払金額	1,794	2,254	▲460（▲20.4%）
最大額	113,000	41,400	—
◆全相談	平成25年度 4～9月	平成24年度 4～9月	増減
お金を支払った人の数	830人	734人	96人（13.1%）
既払金額合計	865,241	795,576	69,665（8.8%）
平均既払金額	1,042	1,084	▲42（▲3.9%）

（2）「もうけ話詐欺」に関する相談が増加

①相談受付件数

（単位：件）

年月	平成25年4～9月	平成24年4～9月	増減
相談受付件数	174	148	26（17.6%）

②商品別件数

（単位：件）

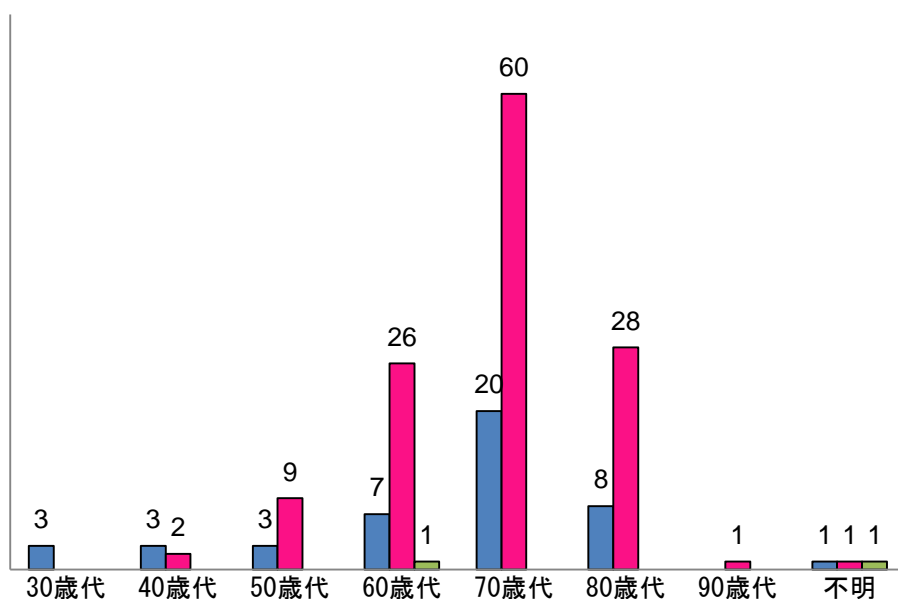
	商品名	件数
1	ファンド型投資商品（商品ファンド、株や社債という形ではない事業への出資など）	51
2	商品一般（商品が不明なもの、他品目にわたる場合）	28
3	預貯金・証券等（未公開株、社債等）	22
4	アクセサリ	19
5	他の教養娯楽品（仏像・仏具など）	11
	その他（商品デリバティブ取引、役務その他サービスなど）	43
	合計	174

③契約当事者の年代および性別

契約当事者の年代・性別でみると、70歳代の女性の相談が60件と最も多く、次いで80歳代の女性の28件となっています。

契約当事者の年代および性別

(件)



④既払金額が減少

既払金額の合計は79,716千円で、前年同期150,161千円と比較すると70,445千円(▲46.9%)の減少となっています。お金を支払ってしまった人の数は前年同期より5人多い30人ですが、一人あたりの平均既払金額は2,657千円で前年同期6,006千円と比較すると3,349千円(▲55.8%)の減少となりました。

(単位:千円)

区 分	年 度	平成 25 年度 4～9 月	平成 24 年度 4～9 月	増 減
お金を支払った人の数		30 人	25 人	5 (20.0%)
既払金額合計		79,716	150,161	▲70,445 (▲46.9%)
平均既払金額		2,657	6,006	▲3,349 (▲55.8%)
最大額		8,465	41,400	—

(3) 健康食品の送りつけに関する相談が増加

①相談受付件数

頼んでもいない健康食品を送るという強引な勧誘電話に関する相談377件は、前年同期57件と比較すると320件(561.4%)の増加になりました。

(単位:件)

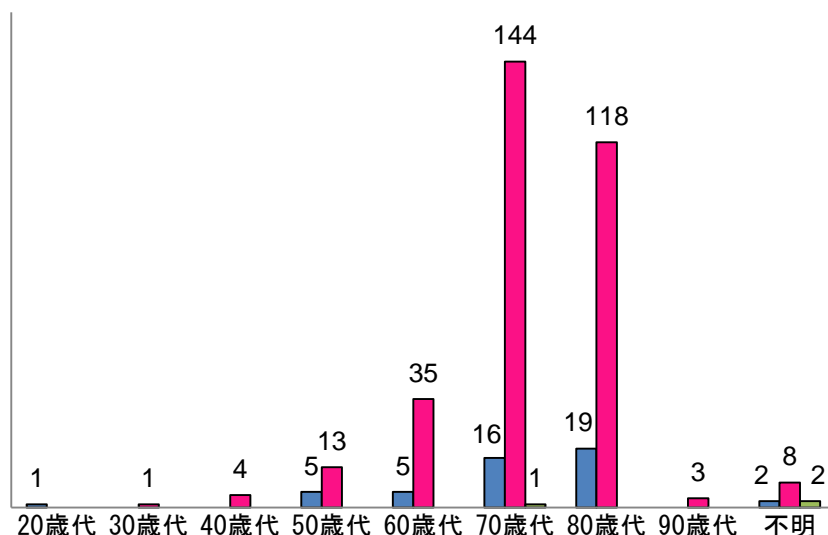
年月	平成 25 年 4～9 月	平成 24 年 4～9 月	増 減
相談受付件数	377	57	320 (561.4%)

②契約当事者の年代および性別

契約当事者の年代および性別で見ると、70歳代の女性が最も多く144件、次いで80歳代の女性118件となっています。男女別では、男性48件に対し、女性326件と圧倒的に女性の相談が多いことがわかります。

(件)

契約当事者の年代および性別



(3) 振り込み詐欺に関する相談が減少

架空請求145件は、前年同期に比較すると22件(▲13.2%)の減少となりました。請求の手口として、携帯やパソコンのメールによるものが113件、ハガキ等によるものが32件となっています。

(単位:件)

	オレオレ詐欺	架空請求詐欺	融資保証金詐欺	還付金詐欺	合計
平成25年度(4~9月)	0	145	2	8	155
平成24年度(4~9月)	0	167	4	6	177
増減	—	▲22 (▲13.2%)	▲2 (▲50.0%)	2 (33.3%)	▲22 (▲12.4%)

(4) 多重債務に関する相談が減少

(単位:件)

年度	平成25年度 (4~9月)	平成24年度 (4~9月)	増減	(参考) 平成24年度
多重債務	196	248	▲52(▲21.0%)	461
融資保証金詐欺	2	4	▲2(▲50.0%)	6
借金整理屋	3	2	1(50.0%)	5
ヤミ金	47	36	11(30.6%)	69
ショッピング枠 現金化	3	2	1(50.0%)	3

多重債務に関する相談 196 件は、前年同期 248 件に比較すると 52 件（▲21.0%）の減少になりました。ヤミ金に関する相談 47 件は、前年同期 36 件に比較すると 11 件（30.6%）の増加となりました。

多重債務相談196件の借金のきっかけ

